



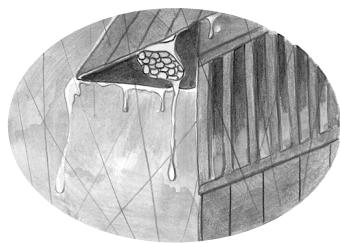
音声はこちら

はる さめ  
春雨や

はち す  
蜂の巣つたう

や ね  
屋根のもり

まつ お ば しょう  
松尾芭蕉

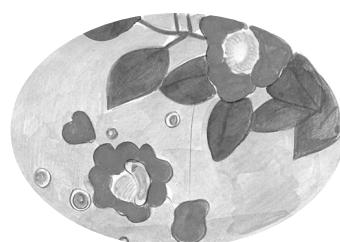


つばき お  
椿落ちて

きのうの雨を あめ

こぼしけり

よ さ ぶ そん  
与謝蕪村

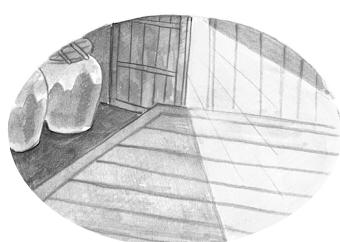


うら もん  
裏門の

ひとりでにあく

ひ なが  
日永かな

こばやしいっ さ  
小林一茶

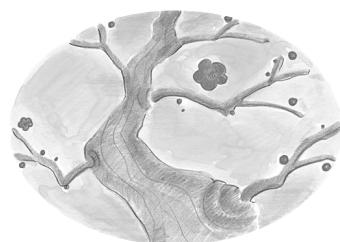


うめ いちりん  
梅一輪

いちりん  
一輪ほどの

あたた  
暖かさ

はつとりらんせつ  
服部嵐雪





おんせい  
音声はこちら

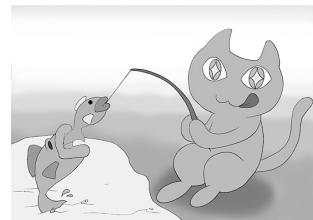
いち ご いち え  
**一期一会**

いつしょう いちど あきかい  
一生にたった一度しか会う機会がないような  
縁であること。一生にたった一度  
の出会い。



いつ きよ りょう とく  
**一挙両得**

ひと ふた りえき え  
一つのことで二つの利益を得ること。



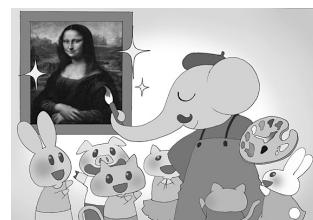
いん が おう ほう  
**因果応報**

おこな おう むく  
行いに応じて報いがあること。



かん ぜん む けつ  
**完全無欠**

まったく欠点がないこと。





おんせい  
音声はこちら

## 《憲法のうた》

(1946年 日本国憲法公布 翌年施行される)

憲法は 国が決めた 最高法規

第1条 主権は国民 天皇は 国民の象徴

第9条 戦争は 永久に 放棄する

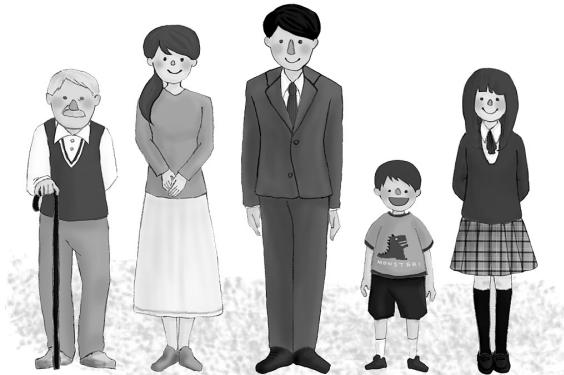
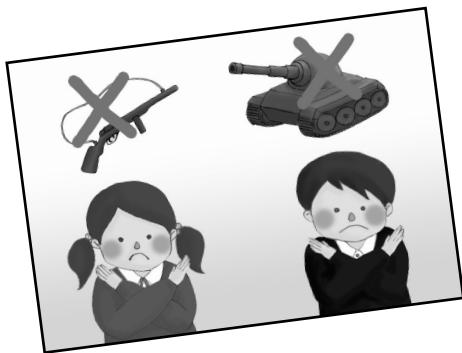
第25条 国民は 健康で文化的な 最低限度の生活を営む権利

第96条 憲法改正は 国会で 議員全員の3分の2の賛成で

国民投票おこなえる

国民の 過半数の賛成で 改正される

憲法の 三つの柱 国民主権 基本的人権の尊重 平和主義

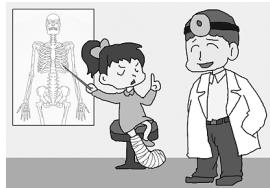




おんせい  
音声はこちら

しゃかせっぽう  
釈迦に説法

みちしりつひとふひつようおしと  
その道を知り尽くしている人に不必要的な教えを説く愚かさをたとえたもの。



とうふ  
豆腐にかすがい

すこて  
少しも手ごたえのこと。



かほうねま  
果報は寝て待て

こううんま  
幸運はあせらず待つのがよい。



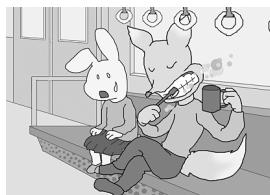
わざわてんふく  
禍い転じて福となす

みわきわ  
身に降りかかってきた禍いをうまく利用して、  
かえって幸福になるようにもって  
いく。



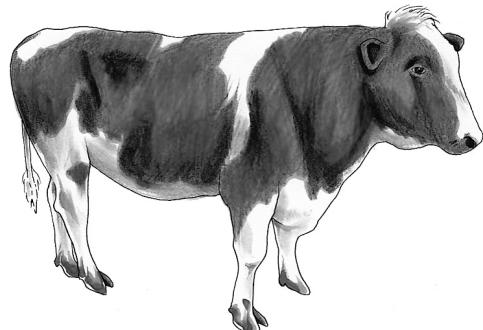
あくち  
開いた口がふさがらぬ

ようす  
あきれている様子。

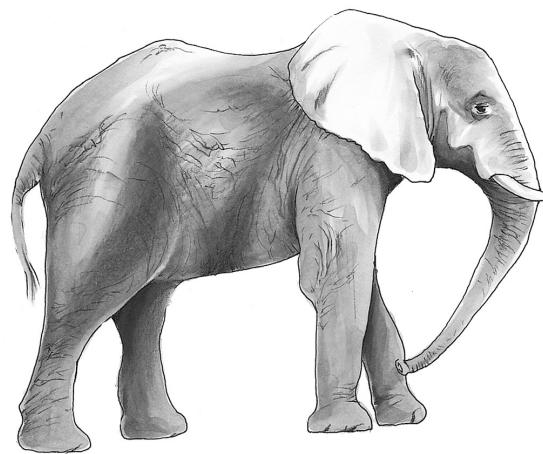




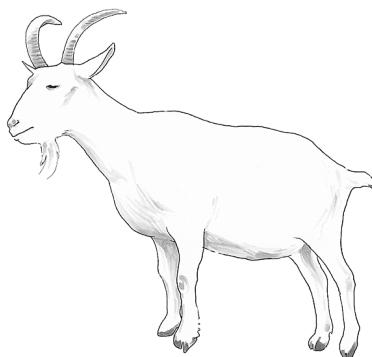
おんせい  
音声はこちら



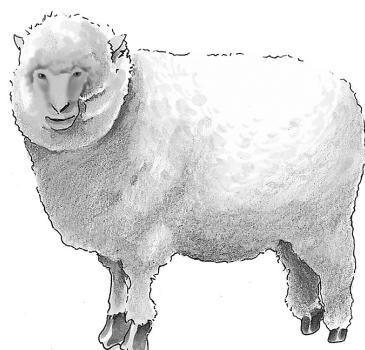
ウシ



ゾウ



ヤギ



ヒツジ



おんせい  
音声はこちら

小お  
峰倉ぐら  
の山やま  
今いま  
ひとみぢ  
たび葉ば  
の心こころ  
みゆきあらば  
待たなま  
む(貞信公)  
逢おに  
坂さかし  
人ひと山やま負お  
にのはわ  
知し  
られで  
さねかづ  
くるよしもがな  
(三条右大臣)

